

建通新聞

中部

業界・行政ニュース

山越

現場見学会開く

配水管のアイス
ピグ洗浄工法で

山越(相澤宏暢社長)は、アイスピグ洗浄工法による配水管洗浄を愛知県大口町で行い、水道事業関係者が見学した。写真。同工法による配水管の洗浄実績は国内で2例目となる。



同工法は英国プリストル大学で開発。水・水比が8:2となる特殊アイスシャーベットを、上下流共バルブで閉め切った

洗浄対象の管路内に注入し、圧密をかけて管内で

ピグを形成する。その後、上流バルブを開放し水圧

でピグを押し流し、管内のシールコートや赤サビ

などをソフトに包み込みながら管外へ排出する。

排出口には視認用のアクリル管と水質確認装置が

備え付けられ、濁度、流量、水温などをデジタル

で管理することができ

る。洗浄後は管内カメラ

調査も行いシールコートや赤サビの除去状況も確認された。

施工した管路は、伏せ

越し構造を含むDIP管口径150ミ、延長530ミで、断水時間は約2時間で作業を完了した。発注者は丹羽広域事務組

合。2013年に導水管洗浄で同工法を採用し、その実績を踏まえて今回配水管での採用となった。